



各ブランドの専門メカニックに聞く メンテしやすいクルマ

Mercedes-Benz
BMW
Porsche
Audi
BEST ベスト

5 整備性の良さは維持費においても重要なポイントになってくる。そこで本特集の最後に、メカニックの立場からメンテしやすいクルマやエンジンについてランキングしてもらった。まずはメルセデス・ベンツからスタート！
文＝GERMAN CARS 撮影＝kijimunar / G.C.E
協力＝セントラルオート / アウトハーフェン / SHINRYU / ザンフターヴンド

児玉さんが考える

メンテしやすいMercedes-Benzベスト5

メルセデス・ベンツ専門修理工場「セントラルオート」の児玉氏が整備性の良いエンジンについてランキングしてもらった。4気筒が第5位だったのは現場ならではの事実かもしれない。

第1位 M112エンジン (V6SOHC)



★代表的な搭載モデル：2代目Eクラス (W210) / 4代目Sクラス (W220)

補機類の交換がしやすい設計になっている

これまでたくさんメルセデス・ベンツを修理してきた児玉氏が第1位に推したのがM112型V6SOHC。補機類が交換しやすい位置に付いたり、以前に比べてネジの数が減っていたりと、整備性を考慮した作りになっているからさうだ。W210やW220あたりからクルマ作りだけでなく、整備の面でも大きく進化しているのが分かる事実だと言えるだろう。

第2位 M103エンジン (直6SOHC)



★代表的な搭載モデル：初代Eクラス (W124) / 190シリーズ (W201)

全体の構造がシンプルなのが魅力的な部分

角目世代のメルセデスに搭載されたSOHCの直6エンジンが第2位。エンジン自体がシンプルな構造になっているのが魅力で、整備性の良さを感じるところ。

第3位 M104エンジン (直6DOHC)



★代表的な搭載モデル：初代Eクラス (W124) / 3代目Sクラス (W140)

大きな進化を遂げた直6ユニット

M103エンジンの後継にあたるM104。電子制御化されるなど大きな進化を遂げているのが魅力。整備の上やすさという意味でも上位に入るところだ。

第4位 M119エンジン (V8DOHC)



★代表的な搭載モデル：3代目Sクラス (W140) / 4代目SLクラス (R129)

搭載されるクルマによって整備性が異なる

M119は整備性が悪いというイメージがあるが、プロの視点から見ると決してそんなことはなく、搭載されるモデルによっても整備性が変わってくるということ。

第5位 M111エンジン (直4DOHC)



★代表的な搭載モデル：初代Cクラス (W202) / 初代Eクラス (W124)

独特な構造を持つM111エンジン

今回、意外な回答だったのがM111エンジン。4気筒なのでスペース効率は優れているが、独特な構造ゆえに部品交換にひと手間かかるケースがあるという。

新世代のV6ユニットは整備性を考慮して設計されている

整 備という括りで全体的に考えてみると見た目の印象がポイントになってくると思います。その中で整備性が良いと思うのはG

C的にも人気が高い2代目Eクラス (W210) や4代目Sクラス (W220) などに搭載されたM112エンジン (V6SOHC) です。エ

次に来るのはV8のM119でしょう。500EやSL500ではスペースが狭いということもあるんですが、W140のS500あたりだとボディが大きいぶん多少余裕

はかかりますね。



Mercedes-Benz 編

セントラルオート ☎ 048-930-6800



セントラルオート
児玉 善一郎さん

メルセデスのことなら何でもお任せのメカニック。重整備も得意としている。

エンジン自体がコンパクトですし、エンジンルームのスペースも広く確保されています。使われているネジの数も以前に比べれば減っていて、しかも統一されているので部品の交換がしやすい設計になっているのが作業していると分かってきます。また、補機類にしても外しやすい位置に装着されているので、工具の選択で迷うことも少なくなりました。

W124など角目世代に搭載されたM103、M104といった直6エンジンはシンプルで、エンジンルームのスペースにも余裕があるのがメリット。プラグ交換をするにしても簡単です。今回、意外な回答だったのがM111エンジン。4気筒なのでスペース効率は優れているが、独特な構造ゆえに部品交換にひと手間かかるケースがあるという。